

令和7年度 学校運営連絡協議会実施報告

1 組織

- (1) 協議会名称 東京都立杉並高等学校 全日制課程 学校運営連絡協議会
- (2) 事務局の構成 副校長(事務局長)、教務部主任、総務部主任 計3名
- (3) 内部委員の構成 校長、副校長、経営企画室長、教務部主任、生活指導部主任、進路指導部主任、保健厚生部主任、総務部主任、学年主任 計11名
- (4) 協議委員の構成 学識経験者(大学教授)、近隣中学校長、地域関係機関代表(3名)、同窓会長、PTA会長 計8名

2 令和7年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会の開催日時、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和7年6月27日(金) 内部委員11名、協議委員6名
協議委員委嘱、委員紹介、評価委員の選出
学校経営報告、学校経営計画
今年度の取組、意見交換
 - 第2回 令和7年11月28日(金) 内部委員11名、協議委員6名
教育活動に関する中間報告
学校評価アンケートの内容・実施方法検討、意見交換
 - 第3回 令和8年2月27日(金) 内部委員10名、協議委員5名
教育活動に関する総括
学校評価アンケートの結果報告及び考察、意見交換
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和7年11月28日(金) 内部委員4名、協議委員2名
学校評価アンケートの内容・実施方法検討、意見交換
 - 第2回 令和8年2月27日(金) 内部委員4名、協議委員2名
学校評価アンケートの結果報告及び考察、意見交換

3 学校評価報告

- (1) 学校評価の観点
「学校への理解」「学校への期待」「学校の実践」の観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模
 - ①実施時期 12月～2月
 - ②対象・規模
 - 生徒 : 回収数: 754名/932名 (回収率: 80.9%←58.8%←94.3%← 96.2%)
 - 保護者 : 回収数: 405名/932名 (回収率: 43.4%←49.8%←45.9%)
 - 教員 : 回収数: 50名/ 50名 (回収率: 100%←100%←100%← 100%)
 - 地域 : 回収数: 35名/ 50名 (回収率: 70%)
- (3) 主な評価項目
「学習指導」「生活指導」「進路指導」「特別活動」「健康美化」「広報活動」「学校運営」「学校満足度」「その他」
 - ※ 選択肢 : 「そう思う(あてはまる)」、「ややそう思う(ややあてはまる)」、「ややそう思わない(ややあてはまらない)」、「そう思わない(あてはまらない)」、「わからない」の5つ(一部の設問を除く)
 - ※ 「わからない」の選択肢は今年度より新設
- (4) 評価結果の概要

生徒・保護者それぞれに記載されている数値は、各設問に対する肯定的な意見の割合である。

※ 肯定的な意見の割合（単位は%）とは、設問に対する回答のうち、「そう思う（あてはまる）」と「ややそう思う（ややあてはまる）」の割合を合計した数値である

※ 「わからない」の回答は、肯定的意見、否定的意見から除いてある

※ 令和7年度の数値←令和6年度の数値←令和5年度の数値←令和4年度の数値

設問1「学習指導」～学校の授業はわかりやすく工夫されている。

生徒 80←78←78←80

保護者 74←77←73←69

教職員 98←96←91←90

設問2「学習指導」～補習や講習はわかりやすく工夫されている。

生徒 80←76←76←80

保護者 59←69←67←63

教職員 84←88←88←84

設問3「進路指導」～学校での進路指導は計画的で適切に行われている。

生徒 79←78←81←82

保護者 79←73←73←70

教職員 88←86←87←92

設問4「進路指導」～学校の進路指導は進路実現のために役立っている。

生徒 78←76←77←75

保護者 77←71←68←67

教職員 92←86←90←92

設問5「生活指導」～学校はルールを守って行動するよう適切に指導している。

生徒 85←85←86←89

保護者 84←87←84←86

教職員 90←88←78←90

設問6「特別活動」～部活動は活発に行われている。

生徒 92←90←87←92

保護者 90←88←86←85

教職員 90←86←90←82

設問7「特別活動」～学校行事は活発に行われている。

生徒 86←87←88←87

保護者 92←94←91←81

教職員 92←94←85←82

設問8「特別活動」～生徒会や委員会活動は活発に行われている。

生徒 70←72←70←73

保護者 83←82←77←69

教職員 56←73←67←72

設問9「健康・美化」～先生方は生徒の悩みに適切に対応している。

生徒 76←75←75←76

保護者 74←74←68←66

教職員 88←86←77←88

設問10「健康・美化」～校内の清掃は行き届いている。

生徒 42←37←44←54

保護者 60←65←63←71

教職員 58←63←45←48

設問11「広報活動」～学校からの連絡は Classi やプリントにより確実に伝わっている。

生徒 75←78←71←75

保護者 84←92←90←89

教職員 96←92←81←86

設問12「広報活動」～本校のスクールミッションを知っている。

生徒 49←34←37←32

保護者 63←49←46←31

教職員 82←86←57←76

設問13「広報活動」～学校はホームページで教育活動についての情報を積極的に公開

している。

生徒 73←64←60←62

保護者 74←65←64←63

教職員 79←65←61←76

設問 14「学校運営」～学校は、教職員のライフ・ワーク・バランス（働き方改革）の実現を促進している。

生徒 66←28←65←64

保護者 79←76←65←59

教職員 48←45←20←46

設問 15「学校満足度」～本校での学校生活は充実して、満足している。

生徒 81←72←75←78

保護者 84←72←81←78

教職員 88←87←71←86

【地域の方々への設問】

設問 1 生徒の身だしなみ(制服の着こなしや頭髮などの様子)が整っていると思う。

肯定的な意見の割合（単位は％） 85←97←100←90

設問 2 生徒の通学時のマナー（歩行時・自転車走行時）が良いと思う。

肯定的な意見の割合（単位は％） 65←61←92←63

設問 3 部活動が活発に行われていると思う。

肯定的な意見の割合（単位は％） 82←93←100←98

設問 4 杉並高校に対して良い印象をもっている。

肯定的な意見の割合（単位は％） 88←94←93←90

設問 5 本校ではホームページを開設していますが、ご覧になったことはありますか。

「はい」という回答の割合（単位は％） 20←13←36←13

設問 6 国や都が働き方改革（ライフ・ワーク・バランス）に取り組んでいることをご存知ですか。

「はい」という回答の割合（単位は％） 57←59←29←28

（５）評価結果の分析・考察（学校及び校長への意見・提言）

- ①学習指導～・昨年度と同様、肯定的な意見の割合に、生徒及び保護者と教職員の間に開きがある。教職員は積み重ねている工夫が生徒及び保護者に伝わりにくいことを受けて、教職員は伝え方を中心に工夫する必要がある。今年度は特に保護者の割合が低くなっているが、昨年度までなかった「わからない」の選択肢が追加されたことが影響していると考えられる。
- ②進路指導～・生徒及び保護者に進路指導の充実をより感じてもらうためにはどうすべきかが１年を通して検討・改善すべき課題である。
- ③生活指導～・肯定的な意見の割合は高い。校則に対しては、緩すぎる、厳しすぎる、両方の意見がある。
- ④特別活動～・部活動、学校行事については、肯定的な意見の割合が高いが、生徒会や委員会の活性化が求められている。
- ⑤健康美化～・悩みへの対応について、肯定的な意見の割合が生徒・保護者ともに 80%を超える評価となるよう組織的に対応しなければならない。
 - ・校内美化については、肯定的な意見の割合が三者ともに低い。特にトイレの改築を求める声が非常に多い。
- ⑥広報活動～・昨年同様、Classi への保護者の肯定的な意見の割合は高い。引き続き、活用していく。
- ⑦学校運営～・学校満足度における肯定的な意見の割合が生徒・保護者ともに高くなっている。働き方改革については、低い評価となっており今後の改善が求められる。

４ 学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

（１）学習指導

- ・今年度も、授業において、生徒に到達目標を明示して確実な振り返りを行う、ＩＣ

- ・T機器や一人1台端末を利活用する、アクティブ・ラーニングの視点に立った授業を実践する等の取組を促進し、授業改善を図ってきたが、今後も更なる促進を図る。
 - ・授業以外での学習の必要性を説き、自主学習について具体的な支援を行う。
 - ・塾や予備校に頼る必要のないよう、補習や長期休業中の講習の充実を図る。
- (2) 進路指導
- ・今年度も、各学年とも、長期休業を活用して三者面談を積極的に行ってきた成果が表れていると考える。さらに、第一志望の「行きたい学校」に挑戦するという態度を養っていく。
- (3) 生活指導・特別活動
- ・制服や校則について、生徒との対話の機会を設定する。
 - ・生活指導における学年間格差がないよう、教職員間で十分なすり合わせを行う。
 - ・登下校のマナーや、自転車の運転やヘルメットについては引き続き、指導を強化する。
- (4) 健康・美化
- ・引き続き、生徒に関する状況の把握、教員間、S Cや関係機関との情報共有、保護者との連携を踏まえ、生徒へ具体的かつ継続的な支援を行う。
 - ・組織的に、清掃やゴミ分別指導を強化する。
- (5) 広報活動
- ・Classiを利用して必要な情報を適切に配信すること、ホームページを活用して生徒や保護者、また、中学生とその保護者にも魅力的かつ効果的な情報を発信することを継続する。ただ、発信が遅いという意見があるので、適切なタイミングでの発信を行う。
- (6) 学校運営・学校満足度
- ・業務の効率化を進め、教職員の負担感の軽減を目指す。
 - ・上記の改善事項を実現し、生徒・保護者・教職員の学校満足度の数値の上昇を図る。

5 学校がよくなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
4	1	0	0	0	0	0

6 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

教育活動についての意見交換、学校評価アンケートの結果分析、協議委員へのアンケート結果により、学校の課題と改善策の方向性が明確になったことが成果であり、課題である。

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】職員会議 0回 企画調整会議 0回

8 その他

- ・昨年度から保護者用アンケートの回収方法を Forms に一本化したが、実施時期が遅く、回収率が大きく低下してしまったので、引き続き呼びかけの機会を増やし、アンケートを依頼する時期も再検討する。